

科目名	論理的思考		履修年次	1 年次
科目区分	基礎分野	単位数(時間)	1 単位 ( 30 時間)	
講師名		講師の実務経験の有無	有 ・ 無	
<p>目的: 人間の思考活動の特徴を理解し、論理的思考に基づいた文章表現力・読解力を育成する。</p> <p>目標: 1 論理的思考の意義と特徴を理解できる。 2 思考活動と言語活動との関係を理解できる。 3 自分の思考を正確に伝える基本的表現方法を理解できる。 4 表現された思考を読み解く方法を理解できる。</p>				
授 業 計 画				
単元	時間	内 容		方 法
1 論理的思考の特徴	2	1 論理的思考の意義 2 論理的思考のプロセス		講義
2 思考と言語	23	1 思考活動と言語活動の関連 2 思考の単位 (1) 文の原則 (2) 段落の意義 3 問答 (1) 意見と事実 (2) 意見・思考の根拠 4 情報伝達 (1) 描写 (2) 説明 (3) 情報分析 ア 推測 イ 演繹的推論と帰納的推論		講義 演習
3 批判的思考	2	1 批判的思考(クリティカルシンキング)の意義と特徴 2 構成要素 (1) 認知的側面(明確化、推論、方略) (2) 情意的側面(態度、傾向性)		演習
4 デイバート	2	1 デイバートの定義 2 目的・役割・機能 3 方法・手順 4 評価		講義
試験	1			レポート
評価方法	レポート (最終評価の際のみでなく、授業の間に課されることもある。)			
必須資料 (テキスト)	なし			
参考資料	・必要な資料がある場合は、講師が適宜準備するので、印刷のうえ、配布する。			
履修上の 留意事項	・文章作成をとおして「論理的に考える」ことを体験的に学ぶ。 ・積極的な学習姿勢と主体的な学習を望む。			

科目名	情報リテラシー		履修年次	1 年次
科目区分	基礎分野	単位数(時間)	1 単位 ( 15 時間)	
講師名		講師の実務経験の有無	有 ・ 無	
<p>目的: 看護に関する情報の収集・管理・活用について、その重要性を理解し、情報取り扱い上の倫理的感受性を高める。</p> <p>目標: 1 看護におけるデータや情報について基礎知識を理解できる。 2 看護における学術情報の探し方や活用について理解できる。 3 看護職に必要な情報倫理について理解できる。</p>				
授 業 計 画				
単 元	時 間	内 容		方 法
1 医療・看護における情報リテラシー	12	1 看護と情報 (1) 情報社会と看護 (2) 看護情報学の基礎知識 2 看護における情報倫理 (1) 情報倫理と職業倫理 (2) 個人情報と情報セキュリティ (3) ソーシャルメディアと情報モラル 2 看護における学術情報 (1) 看護に必要な学術情報の種類 (2) 学術情報探索の実際 (3) 学術情報活用における著作権の重要性		講義
2 医療情報システムと看護	2	1 医療における情報システム (1) 医療情報システム (2) 電子カルテシステム 2 看護における情報システム (1) さまざまな業務システム ① 入院患者ケアシステム ② 看護管理・業務支援システム ③ 院内 e-ラーニングシステム (2) 技術革新と看護		講義
試験	1			
評価方法	筆記試験			
必須資料(テキスト)	看護にいかす文献検索入門:学び続けるための情報探索スキル(中央法規出版)			
参考資料	・必要な資料がある場合は、講師が適宜準備し、印刷のうえ、配布する。			
履修上の留意事項	・現在医療機関では「電子カルテ化」が進み、情報は一元管理されている。 ・個人情報を取り扱う看護職には、これまで以上の個人情報保護や適切な情報管理が求められる。SNS が発達している現代において、対象の個人情報を取り扱う意識や倫理観を高める必要がある。 ・日々の学習や、根拠に基づく看護実践に向けて、学術情報を的確に探し、活用することが求められている。以上のことから、積極的な授業姿勢を望む。			

科目名	看護情報科学		履修年次	2 年次
科目区分	基礎分野	単位数(時間)	1 単位 ( 15 時間)	
講師名		講師の実務経験の有無	有 ・ 無	
<p>目的:          情報処理及びコンピューターに関する基礎的知識を理解し、基本的操作技術を習得する。</p> <p>目標:          1 情報処理に関する基礎知識を理解できる。          2 コンピューターの基礎知識を理解し、基本操作を習得できる。(Word/Excel/PowerPoint)</p>				
授業計画				
単元	時間	内容	方法	
1 コンピューター情報処理	2	1 情報とは 2 情報の取り扱い 3 コンピューターと情報処理 (1) コンピューターの基礎知識 (2) コンピューターネットワーク (3) インターネットの実際 (4) コンピューターの安全管理 ア システムセキュリティ イ ネットワークセキュリティ	講義	
2 コンピューター基本操作	12	1 ワードソフト(Word) 2 表計算ソフト(Excel) 3 プレゼンテーションソフト(Power Point)	講義 演習	
試験	1			
評価方法	筆記試験 課題による資料作成 } 総合的に評価する。			
必須資料(テキスト)	例題 30+ 演習問題100でしっかり学ぶ Word/Excel/PowerPoint 標準テキスト (芸術評論社)			
参考資料	・必要な資料がある場合は、講師が適宜準備し、印刷のうえ、配布する。			
履修上の留意事項	・現在医療機関では「電子カルテ化」が進み、情報は一元管理されている。 ・患者情報の入力(Word)は必須の基礎的能力であり、そのほか、臨床家として看護研究に取り組むことになると、プレゼンテーション能力(PowerPoint)や、表計算(Excel)操作が必要となる。 ・パソコンの基本操作が習得できるよう、積極的な授業姿勢を望む。			

科目名	看護と科学		履修年次	1 年次
科目区分	基礎分野	単位数(時間)	1 単位 ( 15 時間)	
講師名		講師の実務経験の有無	有 ・ 無	
<p>目的: 看護技術の基礎となる科学的現象の物質・現象と看護技術の基礎知識としての原理・原則を理解する。</p> <p>目標: 1 看護技術の基礎となる科学現象の原理・原則を理解できる。</p>				
授業計画				
単元	時間	内容		方法
1 体位変換における力学	2	1 力の合成と分解 2 体位変換の原理 (1) トルク (2) てこ		講義
2 看護ボディメカニクス	2	1 重心と安定性 2 作用・反作用の法則 3 ボディメカニクス 4 摩擦力		講義
3 熱現象	2	1 比熱 2 体熱の産生と喪失		講義
4 圧力と看護の関係	4	1 血圧に関する知識 : ヘルムホルツの定理 2 酸素ポンプ : ボイルの法則 3 胃洗浄とサイフォン		講義
5 液体の落下速度と濃度	4	1 点滴 2 経管栄養 3 酸・アルカリ性 4 濃度と浸透圧		講義
試験	1			
評価方法	筆記試験			
必須資料(テキスト)	完全版 ベッドサイドを科学する (学研メディカル秀潤社)			
参考資料	・必要な資料がある場合は、講師が適宜準備し、印刷のうえ、配布する。			
履修上の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学的根拠のある看護実践のために、看護技術の基本となる物質や現象の構造とその相互作用について、深く理解する。</li> <li>・予習のうえ、授業の臨むこと。また、授業後は復習しておくこと。</li> <li>・積極的な授業姿勢を望む。</li> <li>・また、基礎看護学(日常生活援助技術Ⅰ・Ⅱや統合技術、臨床推論等)の演習に活用する科目でもあるため、当該科目の資料は演習時にも持参することを推奨する。</li> </ul>			